

石巻若宮丸漂流民の会 ◎ 主催

高倉浩樹 講演会

入場無料

シベリアと漂流民



石巻若宮丸漂流民の聞き書き『環海異聞』より「馬車図」 漂流民たちは1794年にアリューシャン列島に漂着したのち、広大なシベリアを横断して1803年にペテルブルグに着いた

漂流民の記録からみえてくる シベリア民族学：歴史と現在

石巻若宮丸津太夫ら18世紀のロシアにわたった日本の漂流民達は、北太平洋の島嶼部からオホーツク・ヤクーツクを經由して、東シベリアの中心地イルクーツクからシベリア街道沿いにペテルブルクまでを移動していった。この間、彼らはこの地に暮らすさまざまなアジア系の民族に出会ったはずである。

この講演では、18世紀の北東シベリアの民族と言語状況を概観するとともに、漂流記史料における民族学的な記述を手がかりに、シベリア先住民の文化と社会を復元する。そのことで漂流記の価値をシベリア民族学的な観点から考えるとともに、シベリア先住民の今日の状況についても言及したい。



高倉 浩樹(たかくら・ひろき)

東北大学 東北アジア研究センター 准教授
専門：社会人類学、シベリア民族誌学



2013年2月16日(土) 午後3:00

(受付開始2:45)

石巻河北ビル1階 かほくホール

★JR石巻駅から徒歩9分

〒986-0827 石巻市千石町4-42

お問合せ ◎ 石巻若宮丸漂流民の会

022-229-7034(木村) 午前9:30～午後8:00にお願いいたします



石巻若宮丸漂流民の会

石巻若宮丸 検索

平成13年12月発足。若宮丸漂流民について市民レベルで関心をもつ人たちが結成。会員それぞれが興味をもつ分野を調べ、情報を交換し、知ったことを広く伝えるという活動を行っている。会員は現在宮城県を中心に全国に約100人。

★講演会会場にて、ご入会を受け付けます。